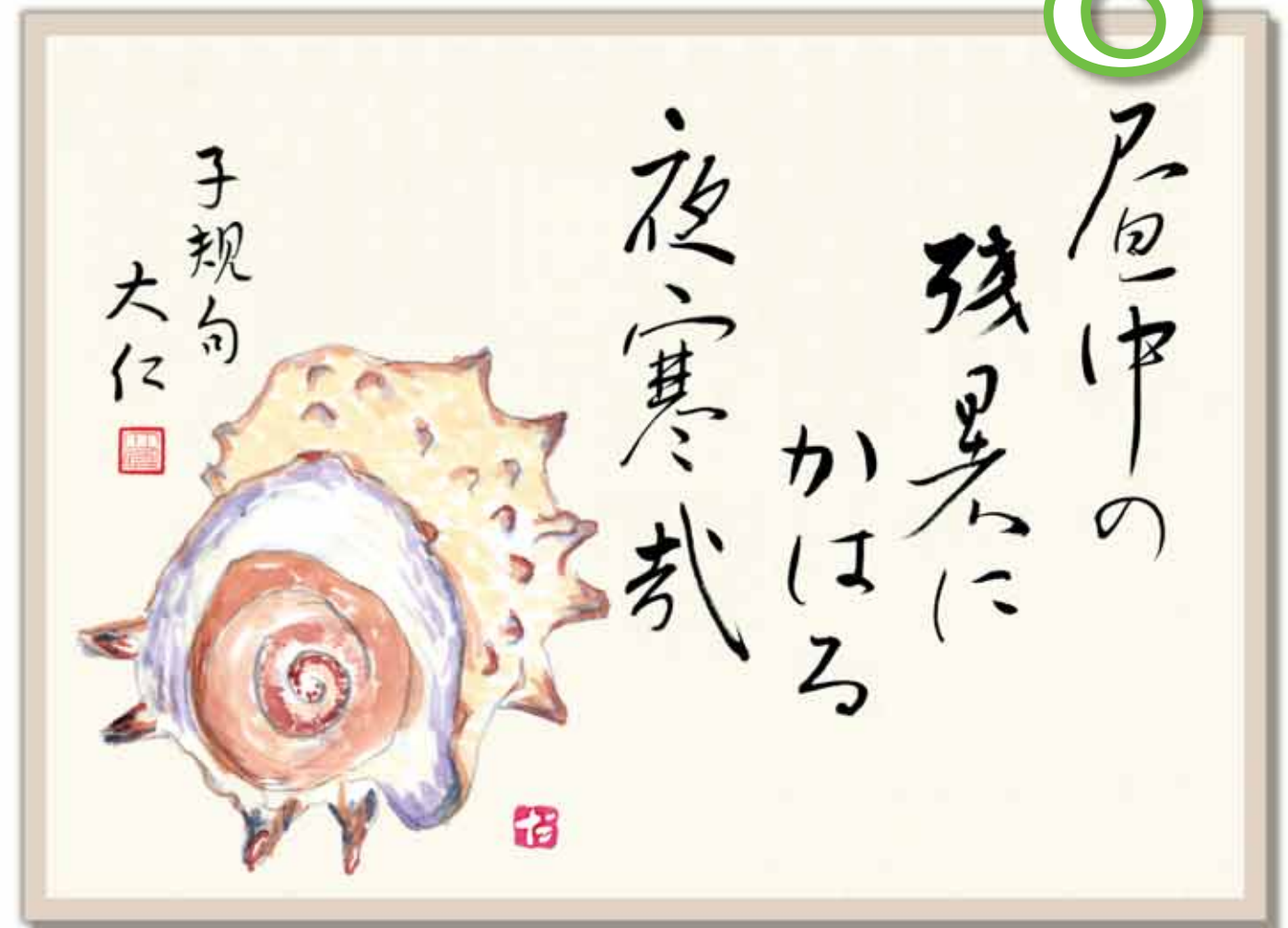
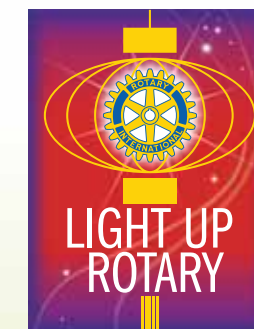


2014-2015 ガバナー月信

# GOVERNOR'S Monthly Letter 8



**Rotary**  
District 2510

# クラブ会長様 クラブ幹事様



国際ロータリー第2510地区  
2014-15年度ガバナー 羽部 大仁(札幌南RC)

まだまだ暑い日が続いております。いかがお過ごしでしょうか。8月は「会員増強および拡大月間」です。去る7月13日に地区会員増強セミナーを開催いたしました。国際ロータリー第2ゾーンロータリーコーディネーター金杉誠バスターガバナーに講師をお願いして、世界の増強状況や日本の現状を踏まえて会員増強を推進できるかについて、大変貴重な有意義なご講演を戴きました。紙面を通じて深く感謝の意を申し上げます。

今春3月には、第1～3ゾーンの会員増強セミナーに参加して参りました。その折も、詳しくこれからの増強の指針が示され帰って参りました。ただ手をこまねいてばかりでは何の解決にもなりません。そこで3つの要点をキーワードに考えて見ました。

## 1. 世界の動向と日本の現状

現在では世界200以上の国と地域に広がり、クラブ数34,578、会員総数1,185,074人(2013/07/01)に達しています。しかしながら、ロータリアン会員数は、2002年6月の1,243,431人がピークで、その後は毎年減少の傾向にあります。国際ロータリーの資料では、インド・ブラジル・韓国が会員数を増やしている一方で、アメリカ・日本・イギリス・オーストラリア等の先進国における会員数が減少して回復の兆しが見えません。ロータリーでは毎年12万人が入会しますが、ほぼ同じ数の会員が退会して行くので、会員数はこの15年にわたりほぼ横ばいになっています。

## 2. 増強は若い世代と女性

ゲイリー・ホアン国際ロータリー会長は若い世代の入会を求める姿勢を表明されています。ロータリーファミリーを通じて家族・インターアクト学友・ロータリーアクト学友・青少年交換学友・RYLA修了者等多くの候補者がいるので手をこまねいてはいられません。

セミナーでは若い世代をロータリーに迎える柔軟な姿勢と具体的なヒントを見逃すことなく、若い会員が入会しやすいアイデアを出し合って下さいと付け加えられました。例会日の工夫・例会時間の検討・年会費の減額などが挙げられました。

私はソーシャルメディアを使って、ロータリーのブランド化と公共イメージの向上を図るべきだと考えています。

1989年の規定審議会で女性にも門戸を開放することが決議され、翌年すぐに2万人の入会がありました。その後着実に会員を増やしていますが、日本では世界の動向からすると未だ低い状況です。私のクラブにも女性会員が1年前から入会して現在4名になりました。効果倍増です。貴方のクラブでも積極的に女性会員を迎えましょう!

## 3. クラブ拡大に新しいタイプのクラブを

クラブ拡大はガバナーの責務の一つです。2510地区では2005年7月に函館セントラルロータリークラブが創立されて以来拡大されていません。この数年間に3つのクラブが解散されました。実に残念な報告です。地区の戦略計画の重点課題にEクラブや衛星クラブを視野に検討することをお願いしています。各クラブ会長・幹事さんは増強・拡大に挑戦してください。呉々もお身体を大切にささって、クラブの発展にご尽力願います。



正岡子規(1867年～1902年)は、明治を代表する文学者です。俳句、短歌、小説、随筆など多方面にわたり創作活動を行い、日本の近代文学に多大な影響を及ぼした一人でした。34歳の生涯でしたが、死を迎えるまでの7年間は結核を患いながら、最後まで文学への意欲は衰えなかったのはさすがです。

前回ご紹介した夏目漱石とは東京帝大時代の友人で、子規が愛媛松山市の出身のためか、漱石が松山の中学校に赴任したことを知って、子規がその下宿に転がり込んだ話など実に愉快地思います。子規はアメリカから伝わって来た野球に夢中になります。きっと漱石も一緒に歓声を上げたに違いありません。こんな句が残されています。

「春風や まりを投げたき 草の原」。

この句は正岡子規記念球場の横に句碑として建てられています。数年前サザエさんに「サザエさんが句碑の前でボールを拾う」ところが写されていました。

明治時代の文学者は、皆何処かで結ばれているかのように関係が深く感じられます。数年前、年末のテレビ特別番組に司馬遼太郎の「坂の上の雲」にも子規が登場しています。そこには秋山真之(あきやまさねゆき)帝国海軍中將も愛媛県第一中学時代の親友だったというのですから、人との縁は不思議なものです。高浜虚子もまた同郷からの縁か子規の弟子となり、明治24年子規から「虚子」の号を授かったのも不思議です。死期を悟った子規が後継者を虚子に求めるのですが、虚子がこれを拒否する事件(道灌山事件)も起こっています。

子規は生涯20万首余の俳句を詠んだといわれますが、子規の俳句と言えば「柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺」が余りにも有名です。また芭蕉の詠んだ「古池や蛙飛びこむ水の音」、この2句が最も日本を代表する俳句かも知れません。

## CONTENTS

- ガバナーメッセージ ..... 1
- 地区会員増強委員長メッセージ ..... 2
- 地区委員会活動計画 ..... 3～10
- 私の雑想ノート/職業奉仕委員から/米山便り ..... 11
- ロータリー財団への寄付ならびに財団資金の活用状況 ..... 12～13
- コーディネーターニュース8月号 ..... 14
- 2015年サンパウロ国際大会の開催日程変更のお知らせ/文庫通信 ..... 15
- 地区ローターアクト第41回地区大会報告 ..... 16
- ロータリー財団地域セミナー(ZONE1-2-3)出席報告 ..... 17
- クラブ紹介(第1グループ) ..... 18
- クラブ幹事の変更について/新会員のご紹介 ..... 19
- 地区カレンダー(8月・9月) ..... 20



# 8月は会員増強および拡大月間

(Membership and Extension Month)



地区会員増強委員会  
委員長 安孫子 建雄(江別RC・PG)



会員増強とクラブ拡大いずれも我々に課された自発的な務めです。

今年度ゲイリーC.K.ホーンRI会長は会員増強の目標について女性会員や若い会員の必要性や、世界の会員数を130万人に増やすという自身の目標について語りました。配偶者や家族、友人をロータリーに誘うよう呼びかけたホーン氏は、「活気あるクラブを築くために、私たちが率先する必要があります。そのためには、まず新会員を迎え入れることから始めようではありませんか」と述べました。

今更何故増強か拡大かを言うまでもありませんが私達のロータリーは自身のものであるとともに、まわりを見渡してより多くのひとに賛同し共鳴してもらいたいからです。ロータリーに入会する動機は自ら望んだり、他の人から勧められたり様々です。しかし一旦例会にでて見ると予期せぬことが起きます。良きにつけ悪しきにつけ自身にとって新しい世界が広がり、始まります。そのことによって私達は新たな人生を歩むことになりました。身近な隣人からまだ見ぬ遠くの人々への道筋を開いていくのが「それでこそロータリー」であります。ガバナーを経験してこれほど多くの仲間に出会い多くのひとの心に触れられたことに感謝しています。この体験は機会の多寡は別にして会員全てがないうるものであり、その機会をロータリーは提供しています。

五輪真弓の曲「ハロー、マイ・フレンド」のなかで「君に会えてよかった、見知らぬこの港町で、僕はひとりぼっちだった」という一節があります。今私達メンバーにひとりぼっちはいないと思います。みんなロータリアンとなっていていい仲間に恵まれています。

昨年度ロンD.バートン会長は「入り口から入って、裏口からでてしまう」会員について問題提起をしました。入会者よりも退会者が上回ることは避けなければなりません。この事はクラブの運営で解決すべきことと思えます。メンバーがいきいきとし、参加意欲を喚起し存在感をもって会に参加できるクラブの姿を目指してほしいと思います。職業分類の存在する意味合いは深

いものがあると思います。好きな者同士や同業者の集まりでないところに多様性を見出し違った価値観を理解する場面が例会に存在します。

地区の状況は1993年6月末で4,256名をピークにして毎年150~200名の会員が減り続き、現在2,500~2,600を推移しております。2013-14年度頭初2,514名で14年5月末現2,584名でしたので70名(2.8%)の純増となっております。(内女性会員120名)各クラブの増強へのご尽力に感謝を申し上げます。地区はクラブごとの会員数に大きな変化があります。すなわち減少率の著しいところ、少人数での運営をしているところがあり、それは札幌圏、地方都市いずれも同じ傾向にあります。人口減少地域にありながら人数をほぼ維持しているところがありながら、都市圏での少人数クラブの存在もあります。我が地域で言うならばグループごとの対応を検討し地域の実情を反映した会員勧誘計画を持つてはどうでしょうか。

田中作次元RI会長年度から3年計画で毎年3%純増、世界で130万人日本で10万人はともかく、我が地区の状況をしっかり把握してメンバー増を果たしていきたいと思えます。仲間を増やすということは取りも直さず私達の活動が周りの人々にどのように理解されるか、そして我々自身が満足するロータリーライフを実現しているかにかかっています。我々自身がロータリーの世界を理解し公共イメージを高めることがさらなるメンバーの増につながります。

会員の皆様のご協力ご健闘を願って月間のメッセージと致します。

参考

8月 会員増強および拡大月間(Membership and Extension Month) 会員増強には、内部拡大、外部拡大の2つがあります。内部拡大は、クラブの区域内で得られている適格な職業分類の代表者に入会してもらい、クラブの会員数を増やすことです。外部拡大とは、ロータリークラブがまだ存在していないところに、新しくクラブを設立してロータリーを拡大し、会員数を増やす活動です。この活動は、地区においてはガバナーと、スポンサークラブの協力で行われ、無地区地域では、国際ロータリー理事会のもとで遂行されます。クラブの拡大は、会員数増加の牽引車的役割を担っています。

## 2014-2015年度 地区委員会活動計画

### 会員増強委員会

委員長 安孫子 建雄(江別RC・PG)



#### 1. 活動方針

2014-15年度RI会長ゲイリーC.K.ホーン氏は「今年度新会員を引き付けるとともに、現会員を維持し、会員数130万人という目標を達成することによって、ロータリーを輝かせてください。そのためには、新しいアプローチとアイデアをもって会員増強に取り組まなければなりません。」と述べられており、我が地区においてこのことを活動の基本としています。

今更であるが「何故会員増強なのか」会員全員が考え、行動する会員増強を目指す。一人ひとりの会員の世界が広がるロータリーの姿をみんなで共有しよう。

#### 2. 活動計画

- ①今年度7月13日開催の地区会員増強セミナーに於いて各クラブの会員増強計画を確認し、具体策について検討する。
- ②「新しいアプローチとアイデア」についてクラブでの取り組みを促し、会員の行動につなげる。
- ③少人数クラブ(会員数は問わず)での会員勧誘の現状と対策、道央圏(中心札幌エリア)での増強強化の可能性について方策を探る。
- ④退会者について、退会理由の検証をしっかりと行いクラブ運営の改善につなげる。

### 地区史編纂委員会

委員長 塚原 房樹(札幌東RC・PG)



#### 1. 活動方針

当地区で地区史が初めて編纂されたのは、西條正博ガバナーの年度でポール・ハリス没後50周年記念の追悼事業として、1996年12月に発刊されました。よその地区では地区史を定期的に発刊していましたが、それまで64年の歴史を有する我が地区には地区史がありませんでした。

当地区の地区史には1970年の河野通正ガバナーから1996年の野口信夫ガバナーまで収録されていますが、その後の石垣博美ガバナーから現在の羽部ガバナーまでの18年間は、空白となっております。

そのことはもはや、地区史としてはすでに賞味期限が切れてしまい、地区史としての役目を失ったことを意味します。

カレンダーも古いものは意味がありません。そこで新たに18年間の空白を埋めるべく、羽部ガバナーの決断で今年度、地区史の増補・編纂が企画されました。

4つのテストの発案者として知られるハーバート・テラーは、「過去に学んで行動せよ」という言葉を残しました。我々の務めは将来どのようなクラブを目指すべきかということにあります。その時に大事なことは「温故知新」、我々はどこから来たのか、自分たちの歴史を知ることです。地区史の意義はまさにそこにあります。

発刊の時期は今年の12月頃をめどに1冊2,000円で頒布する予定です。会員の皆さんにはぜひ1冊ずつご購入いただきたく願っています。また新会員の入会時の記念・贈呈品にお使いいただきたく、各クラブでも多数の購入をお願いいたします。

後日、改めてご案内をさせていただきますが、ぜひお買い上げの上、折に触れ書き、お役にたてて頂くようお願いいたします。

### RI国際大会推進委員会

委員長 細川 好弘(静内RC・PG)



#### 1. 活動方針

2014-2015年度RI国際大会は、2015年6月6日~9日ブラジル・サンパウロで開催されます。南アメリカの中部にある連邦共和国、サンパウロはコーヒーの集散地として発展、ブラジル第一の日系人集中地で商工業都市であります。

W杯サッカーの開催地としても賑わっておりますが、ロータリーに輝きをもたらす国際大会を体験出来るブラジル・サンパウロへ多くのご参加を促進したいと思います。

#### 2. 活動計画

羽部大仁ガバナーのもとブラジル・サンパウロで開催されるRI国際大会の情報をガバナー月信等で提供します。旅行計画については複数社の中から検討をし、また個人参加についても情報収集に努めて「北海道ナイト」を楽しめるものに企画します。

### 拡大委員会

委員長 佐々木 正丞(札幌RC・PG)



#### 1. 活動方針

近年、当地区の拡大については、ここ数年間でRI脱会をするクラブがあり、状況は厳しいものがあります。最も新しく設立された函館セントラルロータリークラブ以降、10年にわたり新しいクラブの設立機運は見られないが、動向を探りつつ、拡大に向けて尽力したいと考えております。

#### 2. 活動計画

- ①可能性のある地域の情報収集と調査。
- ②ロータリー衛星クラブ、ロータリーEクラブを視野に入れての調査。
- ③可能性のある場合の支援。
- ④RIを脱会する可能性のあるクラブへの援助や支援。



## 文献資料室

委員長 中村 明広(札幌手稲RC)



### 1. 活動方針

- ① 地区史編纂の全面的協力を行います。
- ② 文献・資料の収集や提供の検討を行います。

### 2. 活動計画

- ① 文献資料室委員全員が地区史編纂委員となっておりますので、各クラブへの原稿・資料依頼、編集等の地区史編纂にかかわる全作業について実施いたします。
- ② インターネットでの文献情報の収集・提供方法の検討
  - (1) 全国各地のロータリークラブのホームページ上で様々な資料が公開されていますが、こういった情報をクラブやクラブ会員の方が活発に活用していただけるよう、情報収集・提供方法などを検討します。
  - (2) 私たち地区にあるさまざまな文献について全国に公開・提供してゆける方法などを検討します。

## クラブ管理運営委員会

委員長 宮部 光幸(札幌モーニングRC)



### 1. 活動方針

CLP推進以降の『効果的なクラブの実現にむけて』以下の項目について検討可能な活動を実施する。

- ① 『長期計画立案』クラブ長期計画(戦略計画)の立案の推進、方法として

効果的なロータリークラブとなるための活動計画の指標の作成へのクラブメンバー全員参加の推進

- ② 『開かれたRI情報』クラブは地区のロータリー情報を、充分に知る機会を持つ

『クラブと地区を横断する相互情報ネット』あなたのクラブはみんなのクラブ

『クラブで実現できない活動はグループで実現』地・地区グループが次の活動ステージ

『国際ロータリーの意味を発信』地区全域にRIの国際運動を伝え、そして地域のクラブはその活動の窓口として機能する。

方法として 『Rotary.Org』のプラットフォームの利用促進

方法として 『地区広報委員会と連携をとり、クラブの活動の情報の交換を進める』

### 2. 活動計画

- ① クラブより提出される「効果的なロータリークラブとなるための活動計画の指標」の地区活動指針への連携の補助を行う。
- ② Rotary.Orgのプラットフォームでの地区情報のリンクを拡大する。
- ③ 地区広報委員会と連携をとり、クラブの活動の情報の交換を進める。

## 広報委員会

委員長 杉江 俊太郎(小樽RC)



### 1. 活動方針

広報委員会は、羽部ガバナーの強い思い入れで、広報・IC委員会から独立して単独委員会となりました。昨年の地区大会でもテーマとなりました「ロータリーの公共イメージのUP」は今後のロータリー活動を担う上で大変必要なことであります。

ロータリーは世界からそれぞれの地域まで多くの素晴らしい奉仕活動を実施しておりますが、しかし残念なことに、一般市民の方々の活動に対する認知度や理解度がまだまだ低いのが現状だと感じております。これはロータリーの特性である「I SAVE」の活動が、人として大切に必要精神ではありますが、芸能人のように目立つようにすることが活動ではなく、地道な活動ゆえにマスコミからも取り上げづらいことなど様々な要因があると考えられます。

そこで広報委員会としては、「ロータリー活動を広く知ってもらう」ことをテーマに、一般の方々から「ロータリーとロータリーの活動」の認知度や理解度を少しでも深めて頂き、「ロータリーの公共イメージUP」に向けて下記の活動に取り組みたいと考えております。

各クラブ会長をはじめ地区内全てのロータリアンにご協力をお願い申し上げます。

### 2. 活動計画

- ① ロータリー広報のあり方の調査・検討
- ② 各クラブ広報活動との連携、取りまとめ、サポート体制の構築
- ③ 地区としてマスコミとの連携強化
- ④ ホームページ・フェイスブックなど電子媒体の利用促進の検討
- ⑤ 国際ロータリー第2510地区「ロータリーデー」での広報活動

## IC委員会

委員長 里見 英樹(札幌南RC)



### 1. 活動方針

- ① 対外的な情報配信、他クラブへの情報配信、クラブ内への情報配信を的確に行う為に、地区ウェブサイトのリニューアルを図る。
- ② インターネットを利用して情報交換を行うとともに各クラブに対して必要な情報を効率的に伝達する。

## 2. 活動計画

- ① メールマガジンの配信…インターネットを通じて流通する情報や地区内の情報、さらには他地区の有用な情報を速やかにガバナーはじめ地区内の会員に電子メールで配信する。
- ② 地区ウェブサイト…地区WEBサイトの充実を図るため、ガバナー事務所のみならず、クラブ単位での情報提供を促す。
- ③ 地区活動を地域社会にウェブサイトを通じて広報し、クラブへの関心を促進することで、クラブ会員増強の一翼を担えるようにつとめる。

## 職業奉仕委員会

委員長 福田 武男(千歳RC)



### 1. 活動方針

- ① 地区職業奉仕委員会の役割は、各クラブの職業奉仕委員会の活動を支援することです。では、各クラブでは、職業奉仕活動を行うのにどのようなことで悩んでいるのでしょうか。大まかには、恐らく以下の3点についてではないでしょうか。
  - (1) 他の70クラブの職業奉仕委員会では、どのような具体的な活動をしているのでしょうか。
 

「四つのテスト」の唱歌あるいは唱和は、多くのクラブで実施されているようですが、他にはどのような活動をしているのか、それを知ることができれば自分のクラブの今後の参考になると思います。

➡この件に関しては、昨年度もすべてのクラブの「活動報告と年度計画」をまとめてすべてのクラブの職業奉仕委員長さんにお渡ししてありましたが、今年度も同様に調べてまとめております。資料は分科会の時にお渡ししますので参考にしてください。
  - (2) 職業奉仕の具体的な活動はある程度他のクラブの活動状況をみて理解できるとしても、肝心の「職業奉仕とは何ぞや」ということがどうしてもすっきり理解できないのです。
 

➡この件に関しては、以前から言われ続けていることですが、クラブの職業奉仕委員長のみならず「ロータリーの職業奉仕」について少しでも理解が深まるように「グループ合同職業奉仕フォーラム」を、あと3回実施します。(第1回目の第4・5・6グループ合同のフォーラムは、2014年3月1日に実施済み)
  - (3) ロータリーの職業奉仕について学びたいと思うのですが、どのような資料を参考にすればよいのかが分からないのですが。
 

➡職業奉仕の理解に役に立つように、月信にて「ロータリーの職業奉仕」に関する資料などを紹介します。
- ② 羽部大仁ガバナーの目標の一つに、「ロータリーの公共イメージの向上」というのがありますが、この「ロータリーの広報」を推進するに当たり、委員会として出来る限りのサポートをしていきたい。
- ③ 各クラブで職業奉仕フォーラムや勉強会を実施するよう奨励するとともに、クラブから地区委員会に要請があれば、積極的に「出前卓話」などに応じていきたい。
- ④ 地区内会員企業の「社是・社訓」とその経営の理念・経営スタンスについて、各クラブのご協力を頂きながら、みなさんのお役に立つようにまとめたい。

### 2. 活動計画

- ① 地区の職業奉仕委員会において、隔月で「勉強会」を実施する。
 

8・10・12・2・4・6の計6回、札幌グランドホテル、第2土曜日の6:30～8:30
- ② 10月の職業奉仕月間だけではなく年間を通じて、各クラブで「職業奉仕フォーラム」や「ロータリーの勉強会」を積極的に開催するように奨励していく。
- ③ 地区内クラブの要請に応じて、職業奉仕の「出前卓話」を10月の職業奉仕月間だけではなく、いつでも積極的に実施していきたい。
- ④ 月信において「地区職業奉仕の欄」を作って頂き、各クラブが職業奉仕の理解を深めることができるよう「ロータリー情報」を提供すると共に、各クラブが参考になるような職業奉仕の本や資料を紹介していきたい。
- ⑤ 「グループ合同職業奉仕フォーラム」を3回実施したい。(第4・5・6グループは前年度終了済み)
  - (1) 7月12日(土) 12:00～17:00 第1・2・3グループ サンプラザ・ホテル(岩見沢)
  - (2) 11月22日(土) 12:00～17:00 第10・11グループ合同IMで「職業奉仕フォーラム」(函館市内のホテル)
  - (3) 3月28日(土) 12:00～17:00 第7・8・9・12グループ グランドホテルニュー王子(苫小牧)
- ⑥ 職業奉仕フォーラムの実施予告および結果を月信で報告すること。
- ⑦ 2015～2016年度に、「職業奉仕の小冊子」を作成するための準備をしていく。
- ⑧ 「ロータリーの公共イメージの向上」という羽部大仁ガバナーの目標を実現するため、「ロータリーの広報」をするに当たり、職業奉仕委員会として出来る限りの協力をする。
- ⑨ 地区内会員企業の「社是・社訓」及びその創業理念などについて、みなさんのご協力を頂きながらまとめて、いずれ作成予定の冊子に一部掲載したい。

## 社会奉仕委員会

委員長 遠藤 浩一(岩見沢RC)



### 1. 活動方針

ロータリーの原点はクラブの主体性にあることを確認し、地区委員会は、常にクラブと共にあることを自覚し、活動への支援を努めていくことを方針とする。各クラブの活動がより一層活性化するため、定期的に活動内容を把握し、その内容について提供する等の情報交換の機会を行い、社会奉仕活動の充実に寄与します。

### 2. 活動計画

- ① 社会奉仕活動レポート「明日へ」の活用とともに、現在の活動内容や今後の計画、課題を把握し、クラブに対しどのような情報交換等の機会が必要か検討する。
- ② 地区の戦略計画の重点課題への対応として、公共イメージの向上となる活動について、電子媒体等も活用し広報していく。
- ③ 地区の奉仕プロジェクト委員会との連携した、復興支援活動等へ積極的に協力していく。
- ④ 財団との連携により、補助金制度を活用した活動を推進します。



## 国際奉仕委員会

委員長 松原 重俊(砂川RC)



### 1. 活動方針

第2510地区各クラブの皆様へ、地区国際奉仕委員会の活動を理解していただき、地区国際奉仕事業へ参加していただけるようにサポートする。

また、国際奉仕事業の実施には、ロータリー財団と連携をとり、地区補助金を有効に利用する。

### 2. 活動計画

#### ① 国際奉仕事業の実施

各クラブに、支援国の実情に応じたモデルプランを提供し、事業への参加協力をお願いする。

また、国際奉仕活動の実施には、各クラブからの支援を中心に地区補助金を有効に利用し、事業をスムーズに進める。さらに、検証ツアーを実施し、事業の実施状況を確認するとともに相手RCとの友好をはかり、築いてきた絆をさらに強いものにする。

#### ② 国際奉仕活動の啓蒙

卓話、ロータリー雑誌、地区行事、ホームページ等で地区国際奉仕活動を紹介し、多くの会員に理解していただく。

#### ③ 「未来の夢計画」の中で

「未来の夢計画」の中で実施した事業を十分検証し、次年度へ向けてよりスムーズな事業ができるように研鑽を深める。

## 青少年奉仕委員会

委員長 出村 知佳子(札幌北RC)



### 1. 活動方針

① 「未来のロータリアンになっていく青少年」の育成に、各々のプログラムで積極的に取り組む。

② プログラムやプロジェクトを通して、「ロータリーとは何か?」のメッセージを青少年に伝える。

③ 「青少年奉仕」に関するセミナーを開催し、各クラブと共通のテーマでこれについて共に考えていく。

### 2. 活動計画

① 青少年奉仕部門の各委員会(青少年交換、インターアクト、ロータクト、RYLA)と横の連携を取り、共通のテーマで活動を進めていくため、年に2回の合同委員会を開催する。

② 社会奉仕、国際奉仕とも協力をして、地区の支援プロジェクト等に参加をしていく。

③ 「青少年奉仕」合同委員会を開催し、各クラブの活動をサポートする。

## ロータクト委員会

委員長 坂井 治(千歳セントラルRC)



### 1. 活動方針

◆ 各ロータリークラブにロータクトクラブのことを理解してもらい提唱しているクラブと、していないクラブの温度差を少しでもなくすように活動する。

◆ ロータクト出身者がロータリーとの縁を切らないようにする。(ロータリーへの入会促進と新規ロータクターの発掘に努める)。

◆ ロータクトの活動に積極的に参加しロータリーとの一体感を持たせる。

### 2. 活動計画

◆ ロータクトクラブが提唱クラブとの連携を深める。(提唱クラブへの訪問など)

◆ インターアクトや青少年交換学友からロータクトへの道筋をつける。

◆ ガバナーにロータクトクラブの例会への訪問をお願いする。

その機会にガバナー補佐をはじめ近隣ロータリークラブの会員などにも参加していただき、ロータクトへの理解を深めるとともにロータクターがロータリーを少しでも理解するきっかけとする。

◆ 会員増強のために

① インターアクトとの連携を深める(例えばインターの卒業式をロータリーとする)。

② 米山奨学金を受ける学生に対してスポンサークラブから近隣のロータクトに入会することを条件にってもらうようお願いする。

③ 青少年交換派遣学生の帰国後アクトへの入会を義務付けるようお願いする。(近隣にクラブがない場合は検討の要あり)

④ ロータクトOBの子供さんに入会をお願いする。

## インターアクト委員会

委員長 山口 史朗(札幌東RC)



### 1. 活動方針

未来を担い、無限の可能性を秘める青少年に対して、ロータリーは何ができるのか。そして、何をすべきなのか。この問題意識がスタートであり、ロータリーにとって青少年奉仕は重要なプログラムであるとの認識の共有化が大切であると考えます。

ロータリークラブが、インターアクトクラブの設立を支援し、指導やサポートを提供し、交流を深め育成していく。そして、自立したインターアクトクラブの活動が、ロータリーにプラスの効用をもたらす、将来のロータリーに繋がる。双方に有益な関係構築をしながら、地区内におけるインターアクトに対する理解と協力の拡大を推進し、一層の活性化を目指していきたい。

また、青少年奉仕の他の委員会との連携を強化していきたい。

### 2. 活動計画

① 年次大会の開催(2015年6月予定 ホスト静内RC・静内高校)

② 研修旅行の実施(8月3日~6日 台湾)予定

昨年度に引き続き、台湾のインターアクトとの交流と歴史・文化の体験学習を目的とする。

今後の相互訪問の実現に向けての環境整備をする。

③ 地区大会参加の推奨とブースの出展

④ 年4回の地区委員会の開催

⑤ 各インターアクトクラブ間の情報交換と交流の推進

⑥ 全国インターアクト研究会への参加

⑦ インターアクトとロータリーの協働プログラムの推奨

⑧ インターアクトとロータリーの相互の例会訪問の推奨

⑨ 青少年奉仕の他の委員会との交流

⑩ 新規インターアクトクラブ設立の支援

## 青少年交換委員会

委員長 出口 修(札幌大通公園RC)



### 1. 活動方針

① 受入学生の参加イベントを定期的(月1回)に設けると共に、派遣候補生との交流の場を積極的に創り、受入学生の不安や悩みを委員会として認識し、その早期解消を図る。

② 派遣候補生の語学力向上は今までは候補生自身に委ねられていたが、今年度より委員会として候補生の会話スキル向上を積極的に支援する。

③ 青少年交換の実施実績のないクラブを受入学生と共に訪問し、卓話を通じて青少年交換活動の理解促進を図る。

### 2. 活動計画

① 派遣オリエンテーション実施(年6回実施予定)時に、交換学生交流会を同時開催する。

② 派遣候補生への英会話レッスンを月1回程度開催(出発直前は月2回)する。

③ 地区研修・協議会分科会において、受入学生の日本語でのプレゼンテーションを訪問クラブでの模擬卓話として実施する。

④ 秋季キャンプ(11月)と冬季キャンプ(3月)は例年通り実施する。

⑤ 第2500地区の協力を得ながら、7月上旬に道東キャンプ(約1週間)を試験的に実施する。

## RYLA委員会

委員長 増山 柳(江別西RC)



### 1. 活動方針

ライラ Rotary Youth Leadership Awards(ロータリー青少年指導者養成プログラム)の目的は、年齢14~30歳の青少年を対象にスキルと人格を養いながら、奉仕、高い道徳的基準・平和といったロータリーの価値観を学ぶ機会を提供する事とされています。

RYLAセミナーの実施形式は様々ですが、標準的なものとしては3日~7日間のセミナーや指導養成、キャンプなどによって行われています。青少年の指導力の開発とそれに投資する事の重要性から生まれたセミナーを通し、若い人々の素質を認め育てることで地域社会におけるロータリークラブのイメージを改善し、青少年と成人の間の関係を深める中心的な役割を果たすことが出来ればと思います。そのためにもロータリーを通じて地域社会に貢献してゆける人材を育てることが出来る、魅力的なプログラムを提供していかなければと考えています。

### 2. 活動計画

① 地区重点目標のひとつである、復興支援奉仕活動ヘライラセミナー経験者へも参加を呼びかけ、ロータリーの奉仕活動への興味を持たせる。

② ロータクト、インターアクト、青少年交換委員会との情報を密にし、RYLAセミナーの内容の充実を含め、参加者の拡大を図って行きたい。

③ 地区のRYLA委員会として月1回の会合を持ってRYLAセミナー開催の意義を共有すると共に地区内クラブへの情報提供を行います。

④ 2012-2013年度、7年ぶりに復活し3年目を迎えるRYLAセミナーを各クラブに理解して戴き、第2510地区70クラブすべての方々へ有望な青少年をリーダー候補者として推薦戴けるよう働きかける。

## ロータリー財団委員会

委員長 遠藤 秀雄(登別RC・PG)



### 1. 活動方針

① ポリオを撲滅する。今こそ目標を達成しよう。

② 継続的な寄付を通じて、ロータリー独自かつ唯一の慈善事業を支援する。

③ 持続可能な教育的、人道的プログラムの発展を確かなものとする。

④ ロータリー平和センター・プログラムの推進と広報を通じて世界理解、親善、平和を育む。

⑤ ロータリー財団の未来の健全性は自分たちにかかっていることを強調する。

### 2. 活動計画

① ロータリー財団委員会の目標達成に全面的に協力する。特にポリオ撲滅。

② 「毎年あなたも150ドルを」に協力いただきたい。

③ 年次基金への寄付の地区目標は35万ドル以上。

④ ロータリーカードの入会への協力。

## 財団資金管理委員会

委員長 久保田 俊昭(札幌RC)



### 1. 活動方針

- ①補助金の配分について、地区方針を作成すると共に、地区関連委員会との連絡調整を行う。
- ②補助金についての資金活用、資金管理を適切に行う。
- ③各クラブの新補助金の参加資格取得に向けて、指導助言を行う。

### 2. 活動計画

- ①財務管理計画の作成を行う。
- ②地区の参加資格認定手続き、クラブの参加資格(クラブ覚書・MOU)の取得を支援する。
- ③「補助金管理セミナー」の実施を支援する。
- ④「地区財団セミナー」の実施を支援する。
- ⑤補助金に関する財団への報告を始め、クラブと地区が提唱する全ての補助金において、適切な補助金管理を徹底させる。  
また、地区内クラブに適切に公開されるよう指導する。
- ⑥冊子「ロータリー財団の概要」の見直しを適宜行う。

## 財団資金推進委員会

委員長 鍋谷 操子(函館セントラルRC)



### 1. 活動方針

- ①財団の寄付の管理運営を図る。
- ②寄付額に対する理解を図り、増進強化に努める。
- ③70クラブの寄付増進を図り、ゼロクラブをなくする。

### 2. 活動計画

- ①6ヶ月ごとの寄付について把握する。
- ②メジャードナー(大口寄付者)、ポール・ハリス・ソサエティについて推進する。
- ③ポリオプラス寄付に付いて推進する。
- ④年度内の1人150ドルの寄付を推進する。
- ⑤財団ポイント利用による寄付推進を図る。

## 財団補助金委員会

委員長 齋藤 康嗣(札幌真駒内RC)



### 1. 活動方針

- 羽部ガバナーの方針により、地区財団補助金を各クラブに支給する時期を新年度の7月末にする。  
今年度は、地区補助金は375万円を予定しております。前年度より予算は厳しく申請期間、地区での審査期間も短く、委員の負担もおおきいので、前年度に決めたルール、優先度を基本に活動をしていきます。

### 2. 活動計画

- ①2014年3月31日で2014-2015年度のクラブからの申請書の締切とする。
  - ②各クラブからの申請書をまとめ、審査資料を作成する。
  - ③2014年4月中旬～6月中旬 申請内容を委員会にて審査する。  
4月2回 5月2回 内容を審査し、各クラブと話し合いをする。
  - ④6月中旬に採用するプロジェクトを決定する。
  - ⑤6月末にRIに決定した金額を申請する。
  - ⑥7月中旬RIから入金された金額を、7月末に各クラブ指定の口座に支払う。
  - ⑦各クラブから採用され実施したプロジェクトの報告を受ける。
  - ⑧2014-2015年度採用されたプロジェクト状況を纏める。
  - ⑨2015-2016年度の財団セミナーの資料を作成。
  - ⑩2015-2016年度の地区財団補助金の申請、審査作業を行う。
- | 優先度                 | 条件(ルール)              |
|---------------------|----------------------|
| (1) 障害者支援           | ・各クラブの3年前の寄付金の1/6を基準 |
| (2) 児童養護施設支援        | ・最高額 30万円            |
| (3) 人道事業(国内、国外)     | ・1クラブ1プロジェクト         |
| (4) 奨学金(他基金との重複は不可) | ・申請は2014年3月31日締切     |
| (5) 環境保全事業          | ・申請時:申請書、指定口座、見積書    |
| (6) 海外(国内)文化事業      |                      |
| (7) 新世代関連事業         |                      |

## 職業研修チーム委員会

委員長 神部 洋史(滝川RC)



### 1. 活動方針

- ①「未来の夢計画」で補助金制度の変更によって委員会の役割が変わったことへの理解を得る。
- ②グローバル補助金と地区補助金さらにパッケージングについて学習する。
- ③チームリーダーの選考を継続的に行う。

- ④職業研修チーム(VTT)を構成する専門職種候補についての検討を行う。
- ⑤仮想チーム派遣の予算案の検討や、どの補助金が使えるかの検討を行う。

当該年度は今のところVTTの派遣の予定が無い場合、想定される事柄についての検討を行うが、後半期には次年度の派遣チーム予定があれば、VTT派遣団員の募集や語学研修などを行う。

### 2. 活動計画

- ①地区財団委員会と財団関連委員会の補助金セミナーや合同会議などを通じて、地区内各クラブの補助金の配分状況や各クラブからのVTT派遣の有無を確認する。また国際奉仕委員会などの諸外国のロータリー地区事情に詳しい委員会とのプロジェクトと共同で行う可能性について折衝し検討する。
- ②地区補助金の多くは各クラブの奉仕プロジェクトに生かされることを優先するため、当委員会のあるべき姿としてはグローバル補助金やパッケージングからの助成を受けるべきと考えている。そのためVTTの性格が6つの重点分野のいずれかに合致して、総額30,000ドル以上の計画を立てる必要があり、さらにこのプロジェクトは検証可能で継続可能な事業を求められているため、具体的にはどのようなVTTが派遣できるのかを早急に検討する。
- ③チームリーダーの選考については、何時でも派遣の際に対応できるように、出来るだけ多くの候補者のリストを作成しておくよう努力する。
- ④上記②でも記載したが、派遣についてグローバル補助金やパッケージングからの補助金を受けて行うVTTの専門職種は、習得する側になるのか、習得させる側になるかによって編成作業が大幅に異なる。また、世界の他の地区から派遣されてくるVTTの受け入れも予想される。そのため、ケースバイケースの想定をしておかなければならない。
- ⑤上記④でも記載したが、次年度でVTT派遣の希望があればなるべく早期に実効ある計画を立てる必要があり、委員会の派遣体制づくりにも専念する。

## 奨学金委員会

委員長 齊藤 博司(千歳セントラルRC)



### 1. 活動方針

本年度の活動方針は、前年度同様に地区補助金を活用しての文化研修奨学生(3ヶ月・6ヶ月)とグローバル補助金を利用しての1年度奨学生(大学院程度)の留学生を募集いたします。出来るだけ当地区に留まり、帰国後は第2510地区財団学友委員会がサポートする財団学友会会員となり、当地区において、その国際感覚・知識およびボランティア精神をロータリアンのみならず、地域社会に大いに貢献することを期待しております。

当委員会は、こうした奨学生の選考と共に、留学に出発するまでのサポートを行い、また現地とのコミュニケーションをはかっております。各クラブからの積極的な奨学生の推薦を期待しております。

### 2. 活動計画

- ①奨学金の種類と支給額および奨学生の人数などの検討。(第1回委員会)
- ②募集要項・ポスターなどの印刷およびそれらの送付作業。(第2回委員会)
- ③募集開始し、受付業務。
- ④各クラブへの申請書提出締め切りの確認。
- ⑤各クラブからの当委員会への提出締め切りの確認作業。
- ⑥当委員会での書類審査(第3回委員会)・面接選考(第4回委員会)の活動を実施している。その後、最終可否結果を本人と推薦クラブに通知する。奨学生候補者に対してオリエンテーション(委員会も同時に行う)を数回実施し、またその間に相手国の受け入れホストRCとの交渉もあわせて行う。そして、文化研修奨学生については、本年度中に派遣し、1年度奨学生に関しては大学院レベルの留学になるので、留学先大学の体制のことなどを考慮して次年度の派遣になるかと考えております。次に、留学先の受け入れRCの選考・交渉および調整などに学友会員のコネクションや助言が不可欠になってくるでしょう。従って、学友によるアドバイザーが必要であると考えます。このことから、当委員会と財団学友委員会および財団学友会は密接な関係でなければならない。
- ⑦財団学友会による帰国報告会への参加(第5回委員会)  
2013-14年度でのオリエンテーションは3回実施しました。本年度も同様と考えております。従って、委員会も3回は実施の予定。

## 財団学友委員会

委員長 菅原 秀二(札幌大通公園RC)



### 1. 活動方針

- ①財団学友会の活動に対する助言と支援。
- ②財団学友のロータリー活動への参加推進。
- ③財団学友に対するロータリアンの理解向上の推進。
- ④財団学友会の活動の広報と日本ロータリー学友会や米山学友会との交流の推進。
- ⑤ロータリー奨学生の選考やオリエンテーションへの協力の推進。

### 2. 活動計画

- ①学友会役員会との合同委員会の開催。
- ②奨学生帰国報告会と財団学友会総会の開催。
- ③財団学友による第2510地区におけるクラブ例会での卓話の推進。
- ④地区大会における財団学友会によるブースの設置と出席への支援。
- ⑤財団学友会ニューズレター発行への支援。
- ⑥日本ロータリー学友会および米山学友会との交流の促進。
- ⑦財団学友のロータリークラブへの入会の促進。
- ⑧財団学友会10周年記念事業である“The Golden Wheel”翻訳への協力。
- ⑨国際親善に寄与する諸活動への支援。



## ポリオプラス委員会

委員長 岡崎 芳明 (小樽南RC)



### 1. 活動方針

- ① 国際ロータリーの最重要項目であるポリオ撲滅運動に一層の理解を深め積極的な活動の促進に努める。
- ② RI第2510地区内や地域社会に対してポリオ撲滅が未来の子供たちにとって最重要課題であることを知らしめていく。
- ③ ポリオ撲滅に対してグループやクラブが地域社会等との連携や協力を図り、募金活動やイベント活動を積極的におこなって貰う事を推奨しサポートしていく。
- ④ ポリオ撲滅運動を通してロータリー活動の公共イメージの向上をはかる。

### 2. 活動計画

- ① 羽部ガバナーの重点課題に沿い地区内や地域社会に対してポリオ撲滅運動の必要性の理解に努める。  
※下記の2項目は羽部ガバナーの指示による計画です。
  - (1) RI第2510地区の9月14日に予定されているロータリーデーに(当日が望ましいが不可能なら8日~20日のロータリーウィークなどの日に)地域を巻き込んでのイベントや募金活動を通して公共イメージ強化の広報活動をして貰うように、各グループや各クラブに対して依頼しサポートをする。
  - (2) 地区大会にてポリオプラス委員会のブースを設置、ロータリーデー等を実施された地区内ポリオ撲滅運動に対する広報や募金活動の中間発表の場とし、ポリオ撲滅運動を更に推進していく(9月24日迄にポリオ撲滅運動の活動情報を各クラブよりご提供頂きたく思っております)。
- ② ポリオ撲滅活動の広報や募金活動の為にポスターやノベルティグッズを提案・作成しRI第2510地区内のクラブに提示しサポートする。
- ③ ロータリー活動の公共イメージを高める為に広報委員会と連携し、ロータリーポリオ撲滅運動の広報の充実を図る。
- ④ 上記の活動をする為のポリオ委員会を定期的に開催する(月に1回程度)

## 米山記念奨学委員会

委員長 渡邊 葉子 (札幌西北RC)



### 1. 活動方針

- ① ロータリーの目指す“世界平和と国際理解の推進”を実践する。
- ② 多国籍な米山奨学生採用を心掛ける。
- ③ 会員の皆様と奨学生の交流の機会を設ける。

### 2. 活動計画

- ① 米山奨学事業に対する会員各位のご理解を深めていただく為、米山奨学生卓話の機会を作っていただく。  
世話クラブは勿論、近隣地域のロータリークラブへもお伺いする。
- ② ガバナー月信にて、奨学生のご紹介を行う。
- ③ 米山奨学生が、ロータリーに対する理解を深めるように、ロータリー行事への参加を促す。
- ④ 寄付目標額達成のため、委員一同折りに触れ米山事業について広報を行う。
- ⑤ 奨学生・カウンセラー・委員・関係者家族参加の研修旅行を行う。
- ⑥ 面接官オリエンテーション実施。
- ⑦ 奨学生書類選考・面接試験実施。
- ⑧ カウンセラーオリエンテーション実施。
- ⑨ 奨学生修了者歡送会実施。
- ⑩ 地区米山セミナー参加。
- ⑪ 長沼国際交流フェスティバル参加。
- ⑫ 学友会家族懇親会参加。
- ⑬ 学友会懇親会参加。

## 米山学友委員会

委員長 半田 善行 (小樽RC)



### 1. 活動方針

- ① 学友(卒業した米山奨学生)とロータリアンとの交流を中心に活動し長年日本独自のロータリーが作った、米山奨学生を支えた功績を広めたいと思っています。  
昨年も10月にネパールに学友会が設立されました。これで台湾(1983年)、韓国(1989年)、中国(2009年)、タイ(2012年)と5カ国目となりました。特に近年に3つの学友会が設立し日本ロータリーの「米山記念奨学事業」が花咲く頃となり国際親善にも活躍すると思しますので益々のご支援、ご協力をお願いします。

### 2. 活動計画

- ① 今期も広報活動の一環として、小樽RC・小樽南RC・小樽銭函RC合同にて「うしお祭り」の踊りパレードに参加
- ② 地区大会に「米山学友会」として参加
- ③ 定時総会・家族懇親会の開催
- ④ 米山記念奨学委員会と奨学生との連携・交流
- ⑤ 財団学友会との連携
- ⑥ 長沼国際交流フェスティバルの参加
- ⑦ 学友会役員の増員
- ⑧ 学友会名簿の整理

## 私の雑想ノート No.2

### ポール・ハリスの月桂樹

パストガバナー  
塚原 房樹  
(札幌東RC)



先月ご紹介した笹部誠著の『ロータリーあれこれ』の中に、ポール・ハリスが1935年来日した際、帝国ホテルに月桂樹を記念植樹したが、ホテルの建て替え後その消息が分からないという著述があります。  
ところが、内田稔著、『無我の人 米山梅吉』の中に、「ポール・ハリスと茶杓」という題で、奇しくもその後の月桂樹の運命が克明に描かれています。貴重な文献を原文のままご紹介いたします。  
「ポール・ハリスゆかりの茶杓について」  
【金沢東RC創立25周年の時、茶会で抹茶一服の接待をうけた。そのときそこで使用された茶杓が、50年前ポール・ハリスが自ら植樹した月桂樹の幹枝から制作されたものと知って大変興味深く感じた。当日いただいた金沢東RCの“葉”によると、ロータリーの創始者ポール・ハリス氏が昭和10年来日した折、帝国ホテルの中庭に月桂樹を植樹した。昭和42年同ホテル改築の際、中庭の樹はすべて廃棄されたが、この樹だけは助けたいと、第一生命元社長で、ロータリーソングの作詞作曲者、矢野一郎氏の献身的な尽力により、大井町本社に移植した。すでに病虫害で枯死寸前の状態であって、再生はおぼつかなかったので、枝葉を切って300本を挿し木された。そのうち8本が奇跡的に根を付けた。  
15年後の今日、この2世の月桂樹は3メートルくらいに成長し、すでに帝国ホテル玄関と、東京RC60周年記念として、皇居北の丸公園に各1本を贈り、それぞれ健全に成長している。本茶杓は、枯死した第一世月桂樹の幹枝の一部を、矢野一郎氏より譲り受け、茶杓に制作したものである。  
茶杓銘「春栗鼠」(ハリス)「友垣」は、矢野氏に乞うて命名していただいたものである。因みに、“ポール・ハリス”のアメリカ風の発音は“ポール・ハリス”である。なお、ポール・ハリスゆかりの茶杓となった記念植樹のもう一つの行き先が米山記念館であることを特記しておきたい。それは第一生命本社内に挿し木して愛育された2株のうちの一株、二代目の月桂樹である  
(筆者注 矢野一郎氏(東京RC)の作詞作曲によるロータリーソングは、皆さんよくご存じの「手に手つないで」、「それでこそロータリー」などがあります)

## 職業奉仕委員会から

### ロータリーの本の紹介

「ロータリー・モザイク」  
「ROTARY MOSAIC」(1974年)  
ハロルドT・トーマス 著(松本兼二郎 訳)



約半世紀もの間ロータリアンであり、その間にクラブ、地区そして1959年には国際ロータリーの会長までつとめたハロルド・トーマスの著。米国ではなくニュージーランド出身であるが故に、国際ロータリーに対しても客観的な視点で厳しい意見が述べられている。ロータリーの未来に杞憂を抱く者にとって、たいへん貴重でためになる本であると思う。

### 職業奉仕のミニ情報

ロータリーで素晴らしいことは何でしょうかと聞かれたら、何と答えるでしょうか。人によりさまざまな答えがあるでしょうが、すべてのロータリアンの答えの中に恐らく必ず含まれている答えが一つあると思います。それは「地域の素晴らしい人たちと友達になれて、互いに親しくなること」ではないでしょうか。そうです、『親睦』こそロータリーの原点でありスタートであります。  
ところで基本的にはロータリーは奉仕クラブではありません。サーヴィス(奉仕)を志すロータリアンが集まった社交団体です。だからこそロータリーでは親睦をととても大切にしています。  
1935年にマニラでの第5回太平洋会議に出席する途上、日本に立ち寄ったポール・ハリスは、「何故、ロータリーを作ったのですか?」という問いに対して、「ただ、寂しかったから」と答えたとのことでした。

## 米山便り

### 見えない手で繋がっていること

キム ジョン スク  
米山奨学生 金 鐘淑  
(札幌南RC)



2011年3月は、私の人生にとって大きな出来事のあった時期でした。それは長い時間の努力が実を結び、漸く日本への留学をはじめたのです。  
最初は家族と離れ他国で何事も自分で決めて行くことは意外と大変なことでした。ただ、自分の好きな勉強をするために一つの目標だけみてきたのに、それ以外にも自分にやるべきことが沢山あると気づいたときには、改めて家庭を背負っている親の苦労が目に見えてきました。しかし、大変な時期は自分の成長に繋がりました。そしていつの間にか多くの日本の友達と私を支えてくれる周りの方々にお世話になっていました。それがもう4年目に入り、今に至っています。  
多くの時間が米山奨学会に大きな恩を賜りました。まわりのその見えない手は今でもどこかで自分の背中を支えていただいているのです。これは私がいつか誰かにまた返すべき恩なのです。大変ありがとうございました。



# ロータリー財団への寄付ならびに財団資金の活用状況

地区ロータリー財団委員会 委員長 <b>遠藤 秀雄</b> (登別RC・PG)	地区財団資金管理委員会 委員長 <b>久保田 俊昭</b> (札幌RC)	地区財団補助金委員会 委員長 <b>齋藤 康嗣</b> (札幌真駒内RC)	地区財団資金推進委員会 委員長 <b>鍋谷 操子</b> (函館セントラルRC)
---	--	---	--

国際ロータリーのロータリー財団は、1917年アトランタで開催された国際大会で、アーチ C.クランプ会長がその設立を提唱されたことに始まり、来る2017年には100周年を迎えることとなりますが、この間、財団の各種のプログラムの実施によって多大の成果を上げ、世間から高い評価を得ております。

しかしながら、ロータリー財団創設第二世紀に向けて、慈善事業の分野において時代に即した存在であり続けるためにも改革を進める必要があり、2013-14年度から「未来の夢計画」が、全世界で本格実施されることになりました。

本稿では、新しいプログラムをサポートするための財団への寄付状況と、地区に還元された補助金の活用状況についてご報告し、財団活動にご理解を深めて頂き、各種奉仕活動を実践して頂いて、クラブの活性化に寄与して頂ければ幸いです。

## 1. 財団への寄付状況

財団への寄付は、大きく分けて ① 年次基金寄付 ② 恒久基金寄付 ③ 使途指定寄付の3種類で、当地区におけるこの数年の実績を【表1】に示します。

年次寄付金については、この数年間、会員減少の影響も相まって減少傾向が続いていることと、寄付ゼロクラブが見受けられることが懸念されます。

なお、未来の夢計画本実施に先駆けて、2011-12年度に財団委員会の下に「財団資金推進委員会」を設置して、財団へのご寄付を熱心にお願した結果、「ポール・ハリス・ソサエティ」への申し出や、「メジャー・ドナー」が顕著に増えたことが大きな成果といえます。

ご寄贈された方々に深く感謝申し上げるとともに、今後とも財団へのご寄付にご理解。ご協力をお願いする次第であります。

## 2. 地区財団活動資金の活用

財団に寄せられた寄付金は、災害救援やポリオプラス等を除いて、直ちに使用せずに3年間運用されます。

3年後に、年次基金寄付と恒久基金寄付の運用収益は、地区財団活動資金(DDF: District Designated Fund)と国際財団活動資金(WF: World Fund)に均分されます。またDDFは、地区補助金とグローバル補助金に按分されます(地区補助金の比率は最大50%まで)。【表2】に財団から通知を受けた地区財団活動資金の出入り勘定を示します。

地区においては、この地区補助金を活用して、地域社会奉仕活動、奨学金、職業研修チーム(VTT)、国際奉仕活動、災害復興支援等の活動に活用しております。

財団から通知を受けた2013-14年度の地区補助金は、2010-11年度の寄付額から「80,499ドル」となり、2014-15年度の地区補助金は、2011-12年度の寄付額から「78,566ドル」となります。従って、地区補助金の総額としては、2013-14年度では800万円(1ドル100円換算)、2014-15年度では785万円として、奉仕分野別の割り振りを行ないました。【表3】に奉仕分野別の金額を示します。

表2 DDF勘定表(2013-14年度) (単位:USドル)

摘要	収入	支出	残高
2010-11年次寄付より繰入	158,039.25		158,039.25
恒久寄付運用益より繰入	4,583.88		162,623.13
前年度DDF残高より繰越	78,774.01		241,397.14
地区補助金(50%)確定		80,499.00	160,898.14
ポリオプラスへ寄付		20,000.00	140,898.14

以下に、2013-14年度でのDDFの配算状況を説明します。

### (1) 地域社会奉仕活動への配算

クラブから申し出を受けた案件は、2013-14年度では34クラブから34件(総額1,160万円)、2014-15年度では20クラブから20件(総額540万円)のご提案を頂きました。旧来の補助金制度の際には、10数クラブからの提案に止まっておりましたので、未来の夢計画への期待の大きさと、クラブでの地域密着型の奉仕活動への熱意を大きく感じるところであります。

【表4】・【表5】に財団資金を授与することに決定した地域社会奉仕活動プロジェクトを示しますが、2013-14年度においては、申請された34件のうち7件のプロジェクトについては、その授与を見合わせるようになりました(2014-15年度においては、申込み案件の20件全てに授与しました)。

### (2) 国際奉仕活動への配算

国際奉仕委員会では数々の奉仕活動を実践していますが、今期でのDDF活用による奉仕プロジェクトとして、「タイでの教育(識字率の向上)」活動へ120万円を配算することにしました。プロジェクトの内容としては、「タイ東北地区アムナットチャロエン県の農村集落内の小学校にて、子供達の教育支援を目的とした図書館を設置する」ものがあります。建物は、既存の建物を父兄ボランティアの修繕にてよって修復し、本補助金で書籍、戸棚、DVD等の教材、机、椅子等を設置することとしております。

### (3) 奨学金への配算

旧来の国際親善奨学金の制度下においては、毎年数名の留学生に奨学金を支給できましたが、未来の夢計画では、DDF活用の資金に制約を受け、就学内容、期間、人員数に限界を受けることになりました(大学院就学、長期滞在を指向する場合にはグローバル補助金の活用が望ましい)。

この度、奨学金を支給したお方の氏名等を【表6】に示します。

表1 財団への寄付(2510地区) (単位:米ドル)

	2010-11年度	2011-12年度	2012-13年度
年次基金寄付	316,078.49	304,997.00	296,455.65
恒久基金寄付	3,219.51	4,000.00	6,000.00
使途指定寄付	67,568.86	45,155.07	57,406.06
合計	386,866.89	354,152.07	359,861.71

表3 地区補助金の奉仕分野別内訳 (単位:万円)

摘要	2013-14年度	2014-15年度
地域社会奉仕活動	373	375
国際奉仕活動	120	120
奨学金	160	160
災害復興支援活動	140	100
その他	12	20
合計	805	775

表6 奨学金支給状況

氏名	提案クラブ	派遣先	修学内容	期間
鈴木 沙織	札幌大通公園	イタリア	北部イタリアでのスローフードの研究	3ヵ月
畑村 奈津子	千歳セントラル	米国	カルフォルニア州での伴侶及び野生動物の保護に関する研究	6ヵ月

### (4) 災害復興支援事業への配算

当地区では、過去、数々の支援事業を展開してきたところであります。

今回は、被災地の子供達を「さっぽろ雪まつり」に招待して、ウィンタースポーツを通して交流を図って子供達の心を癒し、これからも困難が続くであろう生活に自信を抱いて貰うためのプロジェクトを支援しました。実施内容の概略を下記に記載します。

●実施時期:2014年1月31日から2月2日まで ●招待人数:20名(児童17名、3名の付き添いボランティア)

●実施内容:雪だるまつり、雪中運動会、交流懇親会等 ●協力クラブ:札幌東、札幌南、札幌北、江別西、小樽、千歳、千歳セントラル等(2013-14ガバナ-月信3月号掲載「出村知佳子氏執筆のレポート」参照)

### (5) ポリオプラス基金への寄付

ポリオ撲滅に向けての世界的な活動については、ご高承の通りかと存じますが、当地区としてはクラブをお願いをしている方策以外に、他の地域でのポリオへの寄付状況等を勘案して、DDF残高から2013年度に2万ドルを寄付することにしました。

ポリオ撲滅までにもう一歩の所まできておりますので、会員皆様の更なるご支援・ご協力をお願いする次第であります。

## 3. グローバル補助金の活用

2013-14年度において、グローバル補助金を活用するプロジェクトの提案はありませんでした。

グローバル補助金を活用するプロジェクトとしては、海外社会奉仕活動、海外留学生への奨学金、職業研修(VTT)等が該当し、重点分野での3万ドル以上の大型プロジェクトで、持続性のある成果が求められて成果を測ることができる等の条件を求められます。しかしながら、例えばクラブ同士が共同して、一口の補助金で人道的な活動と教育的内容を組み合わせた総合的なプロジェクトを実施することも可能でありますので、クラブでの積極的な活用を期待するものであります。

## 4. 最後に

2013-14年度に本実施されたロータリー財団の新しい補助金システム(未来の夢計画)の運用にあたっては、地区やクラブの皆様方のご協力・ご支援によって、比較的スムーズに展開できたものと思っております。

DDFやグローバル補助金を活用するためには、クラブ運営を従来の単年度制から、「準備・計画提出(計画年度)と実施・報告(実施年度)」の2年一区切りでの業務を行なわねばなりませんので、クラブの運営・組織体制等もこれに対応できるようにしなければなりません。クラブでのこれが運用策の改善に取り組んで頂ければ幸いです。

ロータリー財団は、国際ロータリーのために活動する財団であり、クラブでの各種奉仕活動を支援する組織でもあります。

地区財団グループとしては、クラブからのご提起や、地域ニーズを勘案した会員の真摯な奉仕活動をお手伝いすべく全力を尽くして参りますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

表4 2013-14年度 クラブ提案の地域社会奉仕活動プロジェクト (単位:万円)

クラブ名	活動内容	提案金額	決定金額
深川	公共公園での子供達への遊び方指導、補助及び教育玩具の設置	14.2	4.0
羽幌	地域の公共の場所への環境植樹	29.8	14.0
砂川	障害児施設への教育指導及び災害時に備えたテントの寄贈	25.0	13.0
滝川	小児病の子供達のキャンプ招致、運営支援、ボランティア支援	40.0	20.0
美唄	地域の公立小・中学校への本の寄贈	52.6	14.0
江別	地域の福祉センターへの車椅子の寄贈	30.0	15.0
札幌北	地域の発達障害児への学習遊具の寄贈	21.0	10.0
札幌モニング	カミネコン(環境植樹事業)	15.9	8.0
札幌手稲	地域小学生のロケット体験学習事業	38.0	8.0
札幌東	母子生活支援施設での親子ふれあい、教育行事の企画運営	87.2	25.0
札幌真駒内	地域の公共の場所への環境植樹	47.2	20.0
札幌南	ひとり親クリスマスふれあい会の企画・運営	19.5	10.0
小樽	地域の公共の場所への環境植樹	30.0	14.0
小樽南	青少年を中心とした国際交流意見交換会議の企画・運営・実施	75.0	20.0
小樽銭函	地域の公共の場所への環境植樹	19.0	10.0
恵庭	地域の公共の場所への環境植樹	50.0	20.0
長沼	地域の公立学校への図書寄贈事業	30.0	15.0
浦河	地域の公共の場所への環境植樹	30.0	15.0
伊達	地域での保潔清掃活動	15.0	8.0
室蘭	地域公共場所へのベンチの設置	30.0	15.0
登別	地域の公共の場所への環境植樹	30.0	15.0
函館	地域の公共の場所への環境植樹	40.0	9.0
七飯	地域の公共の場所への環境植樹	20.0	4.0
函館セントラル	地域の公共の場所への環境植樹	43.4	20.0
函館五稜郭	ベトナムの孤児院への教育教材の支援	98.0	30.0
函館東	地域の公共の場所への環境植樹	23.0	12.0
長万部	地域の公共の場所への花植え支援	10.0	5.0
合計		963.8	373.0

表5 2014-15年度 クラブ提案の地域社会奉仕活動プロジェクト (単位:万円)

クラブ名	活動内容	提案金額	決定金額
深川	「冒険遊び場」での児童とのふれあい交流の実施	14.5	8.0
羽幌	地域の公共の場所(ピオトブ公園)への環境植樹と整備事業	20.0	13.0
留萌	海水浴場の清掃活動とコスモスの植花と生育	23.1	18.0
岩見沢	児童養護施設へのキャンプテントの寄贈	30.0	22.4
札幌北	児童養護施設教育の野外体験学習と絵画コンクールの実施	40.0	16.0
札幌西	乳癌の検診・啓発活動の現状認識と支援活動の実施	30.0	21.0
札幌東	母子家庭の家族との交流事業(川祭り参加等)	30.0	21.0
札幌南	ひとり親クリスマスふれあい会の企画運営	19.5	14.0
倶知安	札幌楽団の招致、ジュニアへの音楽教室コンサートの実施	30.0	21.0
小樽	地域の公共の場所(千年の森)への環境植樹	22.0	16.0
千歳セントラル	震災地・岩沼市での環境植樹支援事業	30.0	21.0
伊達	地域環境保全活動(長流川、清掃)と野鳥カードの作成・配布	20.0	11.0
室蘭	地域の公共の場所への環境植樹	15.0	15.0
室蘭東	知的障害者への農業体験事業(畑の手入れ、植え付け、収穫)	25.6	21.0
函館	聾学校への出前授業の実施(FMシステムの活用)	32.3	30.0
函館亀田	会員職場への中学生の受け入れ授業の実施(会社実習研修)	25.0	14.0
長万部	災害指定場所(保育園)への折畳式避難器具の寄贈	18.1	18.0
函館セントラル	高齢者施設(あんじゅ七飯浜)への歩行器具の寄贈	30.0	21.0
函館東	身障者への車椅子の寄贈(パンコク及び周辺地域)	28.5	26.0
白老	地域の公共の場所(グループホーム、老健施設)への環境植樹	7.0	7.0
合計		539.5	354.4



# コーディネーター ニュース……8月号

(2014年7月9日配信)

第2ゾーン

ロータリーコーディネーター 金杉 誠

7月13日地区会員増強セミナーで講演中の  
第2ゾーン金杉コーディネーター

## RI戦略計画とコーディネーターの責務

この度、日本の3ゾーンのコーディネーターとアドバイザーで共通のニュースレターを配信する事とし、ガバナー会においてRI理事よりその一部をガバナー月信に掲載するよう要請されました。ガバナーの皆様は是非クラブ会員の皆様方にも情報をお届け頂ければ幸いです。その趣旨はRI戦略計画に基づき、各ゾーン3人のコーディネーターが任命され[ロータリーコーディネーター(RC)、ロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)、ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)]、それぞれ補佐も任命されておりますし、恒久基金/大口寄付アドバイザー(EMGA)も活躍されておりますが、クラブの皆様へのコーディネーター、アドバイザーの責務のご理解の促進と、日本の34の地区とクラブの戦略計画への取り組みの情報共有を目的としたものです。

世界全体の会員数は120万人前後と横ばい状態を続けているとともに、日本やアメリカ等ロータリー先進国が激減をしております。そのことに対して危機感を持ったRIは、10年以上の歳月と外部のコンサルタントや膨大な数のアンケート調査、理事経験者を中心とした沢山の議論を通じて、クラブリーダーシッププラン(CLP)をはじめとして様々な改革案を試み、その集大成ともいべきものがRI戦略計画です。

RI戦略計画には3つの重点目標があります。「クラブのサポートと強化」、「人道的奉仕の増加と重点化」、「公共イメージと認知度の向上」の3つで、それぞれの目標達成のために責任があるのがRC、RRFC、RPICの3人のコーディネーターです。RI本部にはコーディネーター部が創設され10人ぐらいのスタッフが我々を補佐する体制になっておりますが、残念ながら日本国内においては一部の地区やクラブを除いてCLPの導入や戦略計画の立案は進捗していないのが実情です。日本全体では33人のコーディネーターと同補佐、及び3人のEMGAがおりまして、各ガバナーの皆様方のお手伝いをする体制が整っております(RIから予算もいただいております)が、残念ながら各地区の研修へ呼ばれることがまだまだ少ないのです。各地区の地区協議会や拡大増強セミナー、PETS、地区チーム研修セミナー等、積極的にお声をかけてください。喜んでお手伝いに参ります。

RI戦略計画は120万人の為の計画ですから大変素晴らしいものです。一方クラブの戦略計画というと構えてしまうのも事実でしょう。大切なのは現在のクラブの活性化と3年後5年後のあるべき姿を、皆様方全員でしっかり話し合っていたいただきたいということです。20人のクラブと200人のクラブでは自ずと違ってきますが、要は皆様のクラブがこのままで本当に良いのか、皆様方の言葉で、皆様方の議論を通じて、真剣に考え意見を集約してくださいということです。現状に安住するのが一番楽ですが一番悪いことです。勇気をもって挑戦しましょう。私たちのより良いロータリーを作るために!ポールハリスも言っております。「ロータリー物語は時代とともに何度も書き換えられるでしょう」と。

(文責、及び質問は金杉Makoto.Kanasugi@ysl.co.jpまで)

## 2015年サンパウロ国際大会の開催日程が変更

国際ロータリーのゲイリー・ホアン会長とRI理事会は、2015年にサンパウロ(ブラジル)で開催されるロータリー国際大会の日程を、6月6日(土)～9日(火)に変更することを決定しました。

この日程変更の理由は、大会初日となる予定だった6月7日(日)にサンパウロ市で大規模なパレードが行われ、深刻な交通渋滞などの混乱が予想されるためです。開幕を前日の土曜日に変更することで、交通渋滞を緩和し、開会本会議場に向かうロータリー会員の移動がスムーズになると予想されます。また、この変更により、土曜日の晩に予定されている「ロータリーカーニバル」(ホスト組織主催行事)に出席しやすくなるというメリットがあります。

なお、この変更により、以下のイベントの日程が変更となります(最新情報は国際大会専用サイトでご確認ください)。

- 国際研究会:6月4日(木)～5日(金)
- 国際研究会昼食会:6月4日(木)
- ロータリー平和シンポジウムと国際研究会の夕食会:6月4日(木)
- ローターアクト大会前会議:6月4日(木)～5日(金)
- 青少年交換役員大会前会議:6月4日(木)～5日(金)
- 会長主催昼食会:6月6日(土)
- 指揮者ジョアン・カルロス・マルティンス サンバのコンサート(ホスト組織主催行事):6月7日(日)
- 会長エレクト主催リーダーシップ昼食会:6月8日(月)
- On to ソウル国際大会昼食会:6月9日(火)

以下のイベントの日程に変更はありません。

- ロータリー平和シンポジウム:6月4日(木)～5日(金)
- 青少年交換役員晩餐会:6月5日(金)
- ロータリーカーニバル(ホスト組織主催行事):6月6日(土)
- イヴェッチ・サンガロ コンサート(ホスト組織主催行事):6月8日(月)

そのほかの期日、登録、ホテル予約などに関する詳細は、国際大会専用サイトをご確認ください。ホスト組織委員会主催行事に関する情報は、ホスト組織委員会のウェブサイトをご参照ください。

ご質問がありましたら、国際大会登録業務担当部(ri.registration@rotary.org)までお問い合わせください。

## 文庫 通信



(322号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

## 最近のロータリー情報

[下記申込先:ロータリー文庫]

◎「日本のロータリアンに期待する」 ロンD.パートン 2014 5p (第42回 ロータリー研究会報告書)
◎「RI会長を終えて」 田中 作次 2014 8p (第42回 ロータリー研究会報告書)
◎「北米におけるロータリー研究会」 G.Kenneth Morgan 2014 3p (第42回 ロータリー研究会報告書)
◎「世界のロータリー」 田中 作次 2014 4p (D.2770地区大会の記録)
◎「今こそ考えよう、ロータリーの心と基本-RIの最近の動きとクラブの対応」 富田 英壽 2014 38p (魅力あるロータリーに)
◎「RLIとは」 南園 義一 2012 6p (RLI研修セミナーテキスト)
◎「新戦略計画の理解と実践を」 南園 義一 2014 2p (D.2780月信)
◎「2013年版手続要覧『主な改定内容と解説』」 小島 修一 2014 3p (D.2500月信)
◎「『職業奉仕フォーラム』実施の報告」 福田 武男 2014 2p (D.2510月信)

## ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝日



# 国際ロータリー第2510地区 ローターアクト第41回地区大会 報告

地区ローターアクト委員会  
委員長 坂井 治(千歳セントラルRC)



6月21日(土)「自助努力～get by trying hard」のテーマの元、2013-2014ローターアクト第41回地区大会は久しぶりの晴天に恵まれた千歳市で開催されました。羽部大仁ガバナーエレクト、第10グループ石山嘉治ガバナー補佐をはじめ多くの地区役員、共同提唱ロータリークラブから川端清(千歳)会長、水野凡(恵庭)会長、白木松敏(千歳セントラル)会長エレクトをはじめとするロータリアン43名と地区内外からのローターアクト60名のご出席を頂きました。



はじめにローターアクト地区代表の西村英晃会員より挨拶があり、その後ホストクラブ吉岡会長の歓迎挨拶がありました。提唱ロータリークラブの川端、水野両会長から歓迎のご挨拶を頂いたあとご来賓の羽部ガバナーエレクト、石山ガバナー補佐、柳新世代奉仕委員長からご挨拶を頂き、地区からの活動報告のち開会式を終了いたしました。



引き続き一年間の活動の成果をお互いに評価し合っの表彰式、卒業生を送る卒業式などが行わ

れました。今年度は2名の卒業生の参加でした。閉会式では次年度の地区代表や地区役員の発表が行われ大会の幕を閉じました。



お楽しみの懇親会は千歳セントラルロータリークラブ白木会長エレクトのご挨拶で開会。地区ローターアクト委員会の川本康裕委員(室蘭北)のご発声で乾杯をして和気あいの懇親会が始まりました。ロータリアンとローターアクトがほぼ同数の参加となったので例年と違い、同じ席に同じクラブのロータリアンやローターアクトが固まらないように配慮し、普段することの出来ない懇親を深めました。

千歳鮭のふるさと館のキャラクター「サモン君」にも飛び入り参加してもらい千歳のご当地クイズなどを盛り上げてもらいました。

大半が新人で大会などの開催経験者が2名しか居ない中での開催となりましたが、大きなトラブルもなく無事終了できましたことを皆さんに感謝申し上げます。



# ロータリー財団地域セミナー(ZONE 1-2-3) 出席報告

地区ロータリー財団委員会  
委員長 遠藤 秀雄(登別RC・PG)  
地区財団資金管理委員会  
委員長 久保田 俊昭(札幌RC)

2014年7月2日(水)、品川のグランドプリンスホテル高輪で、第1～第3ゾーン296名の会員が集まって開催されました。当地区からは羽部ガバナー、嵯峨ガバナーエレクト、遠藤財団委員長、久保田財団資金管理委員長の4名が出席しました。セミナーでは財団目標、財団への大口寄付、ポリオ撲滅、補助金申請手続き等についての説明や、グローバル奨学生やロータリー平和フェローの帰国報告などがなされました。

## 1. ご来賓挨拶

### ① 田中作次 TRF 管理委員(元 RI 会長)

ロータリーは、世界を変える力や、私達を変える力を持っている。ロータリーを通じて私達は違う人間になり、人々に対してもっと思いやり、人々のニーズにもっと目を向けるようになり、以前よりもより高く、よりよい目標を持つようになる。  
財団は、寄付を受け取り、RIが承認した奉仕事業に補助金を提供する非営利法人である。財団の正式名称は「国際ロータリーのロータリー財団」で、RIの方針に沿わない活動をする事は無く、両者の理念は一体である。  
RIと財団の使命は同じであり、財団の活動は、RIの目標を達成していくことである。RIでは、各種のパートナー(戦略、プロジェクト、資金、奉仕)と連携している。

### ② 北清治 RI 理事

新しい補助金制度の実施によって、地域社会においては地区補助金が非常に有効であることが立証され、奉仕活動が分かり易い形で実践されている。  
また世界的な分野においても、グローバルグラントがしっかりと根付いてきており、顕著な成果を上げている。  
RIでは戦略計画を提示し、クラブにその方向性がキチンと届くことに努めている。そのためにコーディネーターを配置して、トレーニングをし、如何にして各クラブに十分浸透するかを考究しているが、成果が出るように力を合わせて努力をして頂きたい。

### ③ 杉谷卓紀 RI 理事

会員減少によって予算が立たずに苦しんでいるクラブが沢山ある。私達の仲間は、地域社会や世界のために、さらには平和構築のために何が出来るのかを考え、活動している。かつて日本では13万人以上も在籍していて、財団寄付金の十分

の一を占めていた。現在、会員が減少しているが、世界の寄付金の十分の一を確保したい。

・会員数の減少下でも、財団の資金を活用して、奉仕活動を立派に実践しているクラブがある。クラブに対して財団の資金を活用して奉仕活動を行なう知恵を授けて欲しい。奉仕活動の実践によって、クラブに輝きが出て元気になり、クラブ活性化が進み、若い人の入会につながれば素晴らしいことである。

## 2. 大口寄付の重要性(鳥居滋 第3ゾーンEMGA)

・奉仕活動の実践のためにも浄財が欠かせず、年次寄付として一人150ドル、ポリオに対しては1クラブ1500ドル・地区DDFから20%の寄付をお願いしている。  
・また、大口寄付の有力候補者の特定や開拓を行なっていきたい。近年、メジャードナーへの勧誘や、ポールハリスソサエティへの勧誘も功を奏している。  
・財団アドバイザーへのお願い(目標)として、1ゾーンあたり2500万円(250万・10口)、地区目標として100万円・5口)を掲げている。

## 3. ポリオ撲滅エンドゲーム戦略計画(江崎柳節 第2ゾーンRRFC)

・RIの過去30年来の最優先テーマであり、本当に撲滅は可能である。撲滅の2018年に向けてのプログラムが生まれ、エンドゲームに向けて世界が活動をしている。  
・1985年にフィリピンでの撲滅に成算を得、世界ポリオ撲滅推進計画が国連の場で決議結成された。その後、2008年にゲイツ財団が参画し、1985年に125カ国、40万人が発症を見ていたが、今や3カ国になった。ポリオウイルスとしては、3タイプ(I～III)があるが、タイプIのみが残っており、2012年にインドが常在国から除外された。  
・2014年5月5日に、WHOの緊急事態宣言が発せられた。  
・2013～18年に向けて、「ポリオ撲滅エンドゲーム戦略計画」が策定されたが、このエンド計画には50億ドルが必要であり、現在の不足額は5億6千万ドルである。  
・「アドボカシー活動(社会的なリーダーが政治の世界に働きかけを行なう)」も行っており、先のシドニーの国際大会ではオーストラリア首相が1億ドルの寄付を、またアメリカも2億5千万ドルの寄付を発表している。  
・ポリオ撲滅は、ロータリーが半生をかけたといってもよい極め付きの社会正義の進行で、最後の責務を果たそうとしている。これが達成に向けての理解と協力をお願いする。



# クラブ紹介

## 深川 ロータリー クラブ



【その1】  
7月8日、地区内最初のガバナー公式訪問を妹背牛ロータリークラブと合同でお受けしました。羽部ガバナーのお人柄そのものの、和やかで、且つロータリーばかりではなく、人生にとっても教訓的なものでありました。当クラブはこれから1年間「ロータリーに輝きを」の「深川スタイル」を展開して参ります。

【その2】  
深川では、ロータリーデーの前哨戦が始まりました。7月12、13日の両日、第11回目を迎えた深川プレパーク(子供達が自分の責任で自由に遊ぶ冒険広場・深川RCのバスト会長が主導して開設・市内4団体が共催)が行われました。子供達の環境すら既成(或は規制)のものばかり…。この広場での彼等の自由な発想とバイタリティに力強さを感じました。合わせて、ポリオのPRと募金が行われました。

## 妹背牛 ロータリー クラブ



妹背牛ロータリークラブは、1967年深川RCがスポンサーとなり、1月18日創立、同年2月6日にRI承認を得て発足し、半世紀を迎えようとしています。会員12名と小さなクラブですが、「愛を持って他者を見る」を2014-15年度クラブテーマに、地域に根差した活力あるロータリークラブを目指し活動してまいります。本町は、数少ないカーリング施設が整備されている町であることから、広く道内の児童に参加を呼びかけ、妹背牛RC杯ジュニアカーリング大会を開催し、青少年の育成に努めるほか、新入学児童を交通事故から守るための黄傘贈呈を毎年4月に行い交通安全活動に力を入れ13年目になります。又、ロータリーへの理解と普及に努めるため、町内会が自主的に実施しているラジオ体操を毎年支援していますが、本年度は、地区戦略計画に添って、ラジオ体操会場等でポリオ撲滅に向けた啓発や募金活動を計画しています。

## 羽幌 ロータリー クラブ



羽幌ロータリークラブでは、社会奉仕委員会での活動に力点を置き、献血運動の推進と「献血車・ひまわり号」の巡回協力、交通安全運動、地域安全運動などの各種行事支援に参加・協力をしています。特に交通安全運動においてはセーフティコール等の街頭啓発への参加、羽幌町と初山別村への交通安全旗などの寄贈、その他歳末たすけあい運動にも資金協力しています。それに加え青少年健全育成のために青少年野球大会を開催・主催、羽幌自然空間協議会(ピオトープ)事業に参加し、地域の子供達といっしょに植樹をしています。クラブ会員奥様同伴の「焼肉パーティ」で会員相互の親睦を深め、しっかり英気を養うことも忘れていません。近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

## 留萌 ロータリー クラブ



日本海に面し、その昔春告魚(にしん)の戦国場として名を馳せた留萌に当クラブが創立されて53年の時が流れました。1996～97年度には故富山惟夫ガバナーを輩出の栄を浴し、内に外にと奉仕の輪を拡げてきました。今年度も全市の祭典「やん衆あんどん」に参加「ロータリーデー」実施、ポリオ募金活動、地区補助金活用の海浜美化事業等、半期のスケジュールは埋め尽くされています。各委員会提出の事業内容が醸し出す熱は、最盛期117名を擁しながら、現在3分の1までに減少した会員数を回復傾向に導くものとなりました。オンとオフに切り替わる和やかな例会と活発な愛好会活動は、クラブに潤いと発色を加えています。これからも伝統に織り込まれ培ってきた「思い」を大切に歩みを進めることが、輝きをそのままに次世代に繋がる大事であると確信しています。

## クラブ幹事の変更について

七飯RCの幹事が右記の方に  
変更致しましたので宜しくお願い申し上げます。

石川 強 会員  
勤務先:(有)石川アルミ 代表取締役  
〒041-1112 亀田郡七飯町鳴川1-6-29  
電話 0138-65-7634 FAX 0138-65-1996

## 新会員の ご紹介



倶知安RC  
佐藤 文雄  
入会日:7月1日  
職業分類:スキーリフト業



千歳セントラルRC  
本村 和貴  
入会日:7月1日  
職業分類:損害保険代理店



千歳セントラルRC  
小松 義徳  
入会日:7月1日  
職業分類:貸間業



新札幌RC  
知念 浩  
入会日:7月2日  
職業分類:ホテル



余市RC  
中井 基典  
入会日:7月2日  
職業分類:農機具販売



千歳RC  
小畑 彰  
入会日:7月3日  
職業分類:歯科医



千歳RC  
腰越くり子  
入会日:7月3日  
職業分類:飲食業



千歳RC  
紺野富士夫  
入会日:7月3日  
職業分類:小型貨物運輸



千歳RC  
春木 仁  
入会日:7月3日  
職業分類:地方銀行



千歳RC  
牟田 裕一  
入会日:7月3日  
職業分類:造園



滝川RC  
河戸三千之  
入会日:7月3日  
職業分類:製造業



滝川RC  
佐々木弘彦  
入会日:7月3日  
職業分類:福祉サービス業



滝川RC  
峯村 征秀  
入会日:7月3日  
職業分類:不動産業



札幌北RC  
中園 直樹  
入会日:7月7日  
職業分類:公衆衛生



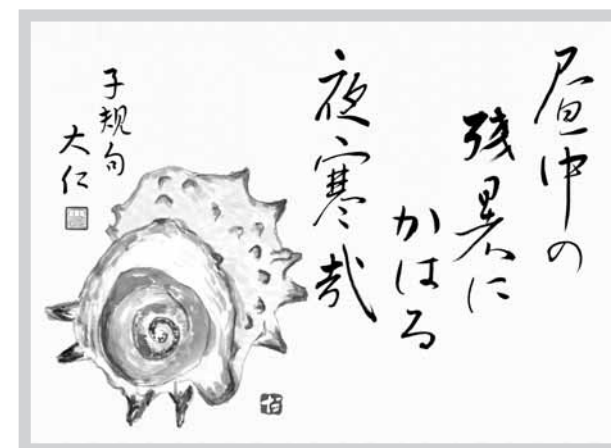
岩見沢東RC  
大宮 純一  
入会日:7月8日  
職業分類:生命保険業

2014年8月のロータリーレート 1ドル 102円

## 地区カレンダー(8月・9月)

8月 会員増強および拡大月間	
1(金)	
2(土)	～5(火) インターアクト海外研修旅行(台湾)
3(日)	
4(月)	
5(火)	公式訪問(栗山RC)
6(水)	公式訪問(留萌RC)
7(木)	公式訪問(羽幌RC)
8(金)	
9(土)	
10(日)	～11(月) 第3回全国インターアクト研究会(神戸)
11(月)	
12(火)	
13(水)	
14(木)	
15(金)	
16(土)	
17(日)	
18(月)	公式訪問(蘭越RC)
19(火)	公式訪問(小樽RC)
20(水)	公式訪問(余市RC)
21(木)	公式訪問(岩内RC)
22(金)	
23(土)	
24(日)	
25(月)	公式訪問(長万部RC、函館亀田RC)
26(火)	公式訪問(江差RC、函館セントラルRC)
27(水)	公式訪問(森RC)
28(木)	
29(金)	
30(土)	
31(日)	

9月 新世代のための月間	
1(月)	
2(火)	～3(水) 第1回ガバナーエレクト研修セミナー(東京) 公式訪問(伊達RC、室蘭北RC)
3(水)	公式訪問(室蘭東RC、登別RC)
4(木)	2015-16年度地区研修リーダーセミナー(東京) 公式訪問(室蘭RC、洞爺湖RC)
5(金)	～6(土) 地区野球大会(新ひだか)
6(土)	
7(日)	米山奨学生研修旅行予定
8(月)	
9(火)	公式訪問(当別RC)
10(水)	公式訪問(倶知安RC)
11(木)	公式訪問(小樽銭函RC)
12(金)	公式訪問(小樽南RC)
13(土)	
14(日)	地区ロータリーデー
15(月)	敬老の日
16(火)	公式訪問(札幌清田RC)
17(水)	公式訪問(札幌モーニングRC)
18(木)	公式訪問(札幌東RC)
19(金)	
20(土)	北海道ロータリーアクト交流会予定
21(日)	地区大会記念囲碁大会(札幌)
22(月)	
23(火)	秋分の日
24(水)	公式訪問(札幌真駒内RC)
25(木)	公式訪問(千歳RC)
26(金)	
27(土)	
28(日)	
29(月)	公式訪問(札幌北RC)
30(火)	



### 表紙の解説

#### サザエと子規の句

8月は、暦の上では「立秋」です。季節の移り変わりの早さに驚きを禁じ得ません。今月は、生涯20万首の句を詠んだ正岡子規を紹介しました。子規は結核を煩い脊髄カリエスで、寝ながらの生活でした。その布団の中でも多くの句を詠んだのですから、もの凄いな作家魂です。

8月には残暑を見舞う習慣が今に伝わっています。北海道の夏はそれ程とっていました。しかし、昨今の夏は異常に熱いので、お見舞いを込めて磯の香りをサザエと子規の詩に込めて暑中お見舞い申し上げます。

熱い日中でも夕方には、身体が厳しく寒く痛く感じたのでしょうか。これは体調が思わしくないために夜寒と体感し布団に丸まったのではと空想を巡らしました。「昼中の 残暑にかはる 夜寒哉」

会長・幹事さんには夏バテしないように体調管理を怠りなくお過ごし下さい。

羽部